

# 【記入例】

<北九州市消防指令センター FAX 592-6805 宛て>

## 消防ヘリコプター搬送依頼書

【別紙1】

依頼病院	〇〇 病院		
受入れ病院	▲▲ 病院		
搬送予定日時 <b>①</b>	11月 18日 15時 30分頃 (県内の医療機関であれば、概ね30分以内に到着します。)		
患者情報	氏名	北九 太郎	年齢 50 歳
	性別	男・女	
	意識レベル	JCS I・II・III クリア	
	傷病名	交通外傷 脊髄損傷	
	体重	80 kg	
	搬送体位	仰臥位・半座位・座位	
	飛行高度の影響	あり・なし	
飛行中の容態変化	あり・なし		
資器材情報 ※持ち帰る資器材名に○を記入してください。 ※搬送時間以上使用可能なバッテリーを準備してください。	酸素ボンベ	(2ℓ・5ℓ・8ℓ) × 本 (予備含む)	あり/なし
	モニター	(幅:約40cm×高さ:約30cm×奥行:約10cm) (重量:約 kg)	あり/なし
	人工呼吸器	(幅:約 cm×高さ:約 cm×奥行:約 cm) (重量:約 5 kg)	あり/なし
	吸引器	(重量:約 kg)	あり/なし
	輸液・輸血	(左・右・上肢・下肢) に計 本	あり/なし
	バックボード・ネックカラー		あり/なし
	その他 <b>④</b>	↓上記以外に資器材がある場合は、記入してください。 <b>③</b>	
付添搭乗者 ※ヘリで航空隊基地へ帰投する場合は、氏名に○を記入してください。	医師 看護師 氏名 小倉 一郎 体重 75 kg		
	医師 看護師 氏名 八幡 花子 体重 48 kg		
ヘリ準備資器材	予備用酸素ボンベ (2ℓ 1本)・モニター・除細動器・吸引器		
依頼病院連絡先 <b>⑤</b>	担当者 九州 次郎(整形外科) 電話 093-222-9999		
お願い <b>⑥</b>	※ヘリ搭載重量について：患者体重 + 資器材重量 + 搭乗者体重 = 180kg以内としてください。		
	1 ヘリが飛来したら、着陸する場所から離れて待機してください。 2 ヘリが離陸したら、受入れ病院へ到着時間等を連絡してください。 3 引き継ぎ及び収容がスムーズに行えるように、依頼病院、受入れ病院ともに準備を確実にしてください。		

# 【記入時の注意事項】

- ① 依頼病院に来てほしい時間の記入をお願いします。
- ② 振動、音、頭部が下がることにより患者に及ぼす影響はないかの記入をお願いします。
- ③ (例) 輸液ポンプ、シリンジポンプ等
- ④ 機内に電源はありますが、有事の際のバックアップとしてのみ使用可能です。
- ⑤ 詳細な情報を確認することがあるため、必ず繋がる担当者の氏名(科目)、連絡先をお願いします。
- ⑥ 運航の支障とならないよう、ヘリ搭載重量については、計180kg以内としてください。